

京都駅八条口駅前広場における課題と対策（令和6年度）

1 タクシー乗り場等

<利用状況>

タクシー配車システム利用台数
⇒昨年度同時期比6%増

<課題と対策>

課題 乗り場に関する案内表示の不足

対策 案内板の新設（新規）1-A参照
誘導表示の追加（充実）1-B参照
路面表示の改善（充実）1-C参照

課題 降り場へのアクセスが混雑（主に観光シーズン）

対策 臨時降り場の設置（新規）1-D参照
降り場への滞留対策係員の配置（新規）1-E参照

1-A

※詳細は本編P2参照



（課題）
タクシー種別により乗り場が
異なり分かりにくい
※一般・予約・大型・
フォーリンフレンドリー

（対策）
乗り場に看板を設置し、
各乗り場への動線を表示

1-B

※詳細は本編P3参照



（課題）
乗り場と降り場が離れており、
乗り場の場所が分かりにくい

（対策）
降り場に案内看板を設置し、
降車専用であることや、
乗り場への動線案内を表示
（多言語対応）

1-C

※詳細は本編P3参照



（課題）
繁忙期に乗車待ち列が長くなり、
他の駅利用者の通行を阻害

（対策）
通路を確保し、整列できるよう
路面表示を延長

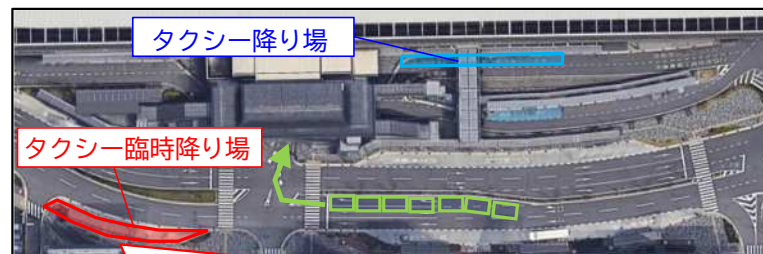
1-D

※詳細は本編P4参照

（課題）
京都駅八条口交差点の西行右折車線において、
右折待ちの車両が追越車線に溢れ出し、
八条通の交通に影響（主に観光シーズン）

（対策）
貸切バス臨時降車場をタクシー臨時降り場として
運用することにより、降車タクシーを分散化

<対策日時>
令和6年11月23日（土）、24日（日）、30日（土）、12月1日（日）
各日午前9時から午後5時まで



降り場の利用ピーク時間における降車タクシーの分散化が図られた

1-E

※詳細は本編P5参照



（課題）
降り場入口で車両が滞留することで、
後続車両の進入を阻害

（対策）
降り場に交通誘導員を配置し、
車両を降り場前方（奥）へ誘導

<対策日時>
令和6年11月23日（土）、24日（日）、
30日（土）、12月1日（日）
各日午前9時から午後5時まで

2 一般車乗降場

<利用状況>

利用状況調査を実施（令和6年11月15日（金））

- ・ 停車時間が5分以内の利用82%（昨年度比1%増）
- ・ 利用台数の多い時間帯は15～20時（閑散時間帯の約1.5倍）
- ・ 京都ナンバーが全体の7割以上

<課題と対策>

課題 乗降場内における5分を超える長時間停車

対策 啓発横断幕の新設（充実）2-A参照
案内看板の新設（充実）2-B参照

課題 乗降場への進入路における車両滞留

対策 路面表示（中央ライン）の設置（新規）2-C参照
啓発看板の新設（充実）2-D参照
ポストコーンの移設（新規）2-E参照

2-A

※詳細は本編P11参照



（課題）
一部車両の人待ちのための長時間停車

（対策）
「速やかな乗降以外の停車は禁止」を啓発する
横断幕を新設（多言語対応）

2-B

※詳細は本編P11参照



（課題）
乗車利用者への
案内表示の不足

（対策）
乗降場を案内する
表示を増設

（課題）
乗降場への進入路における車両滞留
（主に一般車の車道中央への停止等により、タクシー降り場等の利用に支障が発生）

2-C

※詳細は本編P11～12参照



（対策）
路面表示（中央ライン）の設置により、
「一般車」と「タクシー及び送迎バス」との
車線を区別化

2-D

※詳細は本編P11～12参照



（対策）
一般車は車道の右側を
走行するよう、
啓発看板を設置



2-E

※詳細は本編P11～12参照



（対策）
進入口における車両滞留対策のため、
ポストコーンを移設

3 貸切バス乗降場

<利用状況>

貸切バス乗降場利用台数
⇒昨年度同時期比8%増

<課題と対策>

概ね円滑に運営できており、
大きな課題なし。

4 その他（送迎バス・荷捌き・路線バス）

<課題と対策>

概ね円滑に運営できており、
大きな課題なし。